

クラスタ ログのメタデータ同期化が起こったかどうか調べるのに使用方法か。

目次

[概要](#)

[クラスタ ログのメタデータ同期化が起こったかどうか調べるのに使用方法か。](#)

概要

この資料にクラスタ ログをメタデータ同期化が起こったかどうか調べるのに使用する方法を記述されています。

クラスタ ログのメタデータ同期化が起こったかどうか調べるのに使用方法か。

起こりそれからクラスタのエントリを表示して記録することをメタデータ同期化がノードを渡って記録するクラスタをつけることによってかどうか確かめることができます。

次に例を示します。簡潔にするために、2 ノード クラスタを仮定しよう。

1. スタジオ > Server > 設定 > クラスタに行き、**すべてに水平な詳細を記録するクラスタを設定**して下さい
2. あらゆるノードでリソースへの変更を行なって下さい。たとえば、ノード 1.でマイナーをビューカプロシージャに編集させます。この変更がノード 2.に伝達されたかどうかこの場合確かめて下さい。
3. 少数の時点を待ち、そして各ノードのクラスタ ログを点検して下さい。ログは各ノードの `CIS_INSTALL_DIR/logs/cluster` フォルダの下にあります。

同期化が起こった場合、クラスタ ログのこれらのメッセージが表示されます。

ノード 1 クラスタ ログはこのエントリが含まれています: `NOTIFY_ABOUT_CHANGE` についてメッセージを送信するため:

ノード 2 クラスタ ログはこのエントリが含まれています: `受け取られる`

ノード 2 クラスタ ログはこのエントリが含まれています: `応用変更`

メッセージはここに説明されます:

`NOTIFY_ABOUT_CHANGE`: メタデータの変更を行なったこと、そしてノード 1 が他のノードにネットワークを渡る変更を送信することを約あることノード 1 が検出することを意味します。

`RECEIVED`: ノード 2 がノード 1.からの変更を受け取ったことを意味します。

応用変更: そのノード 2 受け取った変更を加えたことを意味します (すなわちノード 2 はノードと 1) 今同期しています。

この 3 つのエントリはメタデータ同期化がノード 1 によって始められ、ノード 2 によって受け取られ、ノード 2 によって続いて適用されたことを、それぞれ示します。